



このファット感
カッコいいです!

ワンタッチ消音加工は 100€くらいです

ヨーロッパではデイトナ製マフラーを写真のように加工しているマシンを数多く見かけたが、これは約100ユーロ(約1万6000円)でワンオフ製作してもらっているのだという。125cc以上のエンジンとなると、車検も受けることになるので、車検対応のための秘策なのだろう。ステンレス製のフタは、クリアランスがキツク作られているので、しっかりした作動で、全開時でも金属の当たる音などはせず、想像以上に快適なのだ。



▲腰下はタイホンダ製のナイス110とされ、TJRで購入したというSP武川製のスーパーヘッド+Rキット(175cc)を搭載。キャブはミニニ製VM28φとし、パワーフィルターを装着している。



▲撮影日は雨が降りそうだったのでトランポでやってきたインゴさん。ちなみにフロントフォークはナイス110用の26φフォークを多少ツメて使用。トップブリッジなどは特注という入魂作。フロントカウルは旧型のナイス110用となっている。

知ってる? ナンバーの意味

50cc以上のバイクが付いているナンバープレートがコレ。左上がユーロのマークで、Dはドイツ、PIはピネベルグ、白い丸いステッカーも同じくピネベルグを意味している。右上の青いステッカーは車検の時期を表しており、2年に1度、車検を受けなければならない規則となっている。ちなみにこのナンバーを取得して、車検証に表記される最高速が80km/h以上なら、高速道路も利用できる(ドイツの高速道路は無料なのだ!)ので、活動範囲が広がるし、アウトバーンなら合法的に最高速アタックができちゃってコトです。スゲー!



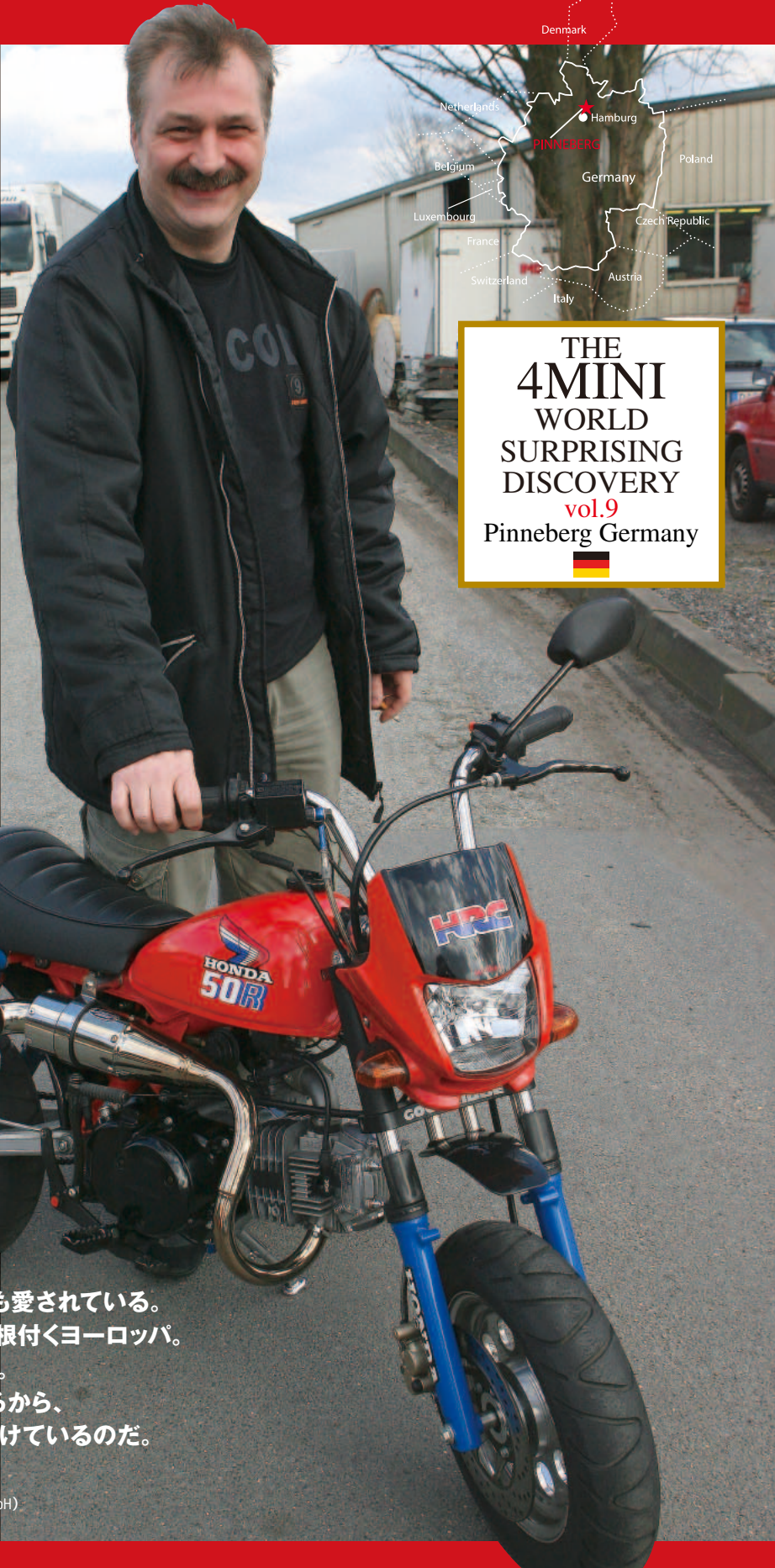
たいと思っ
発信してい
ちゃんぶを
や4MINI
モトチャン
しみたも、
地、日本の
238)。4MINI
スが開催さ
に誇る4MINI
だ。7月の終
れ、生まれ
が生まれ続
MINIは世
MINIは世
MINIは世

今から20年前、1988年にモンキーを購入して以来、ヨーロッパでも人気の高いDAXなど4台もの4MINI所有歴があるインゴさん(49歳)。写真のモンキーは10年ほど前に500€(約8万円)で購入し、それ以来ずっと改造し続けて今のスタイルになったという。「暖かい日は毎日乗ってるよ」という超実用派のインゴさんだけに、チョイスされているパーツは走りを意識したものが多く、信頼性やクオリティーから、日本製パーツが多用されている。「じつは」のモンキーは息子にあげるハズだったんだ。でも今はもう違う。「愛着が沸いちゃったからね」というインゴさんだが、このモンキー以外にも175cc仕様のモンキーを所有しているというから、息子さんとのランデブー走りも可能なのだ。



この美女と、このクルマのワケは?
次号、モトチャンプ9月号では
ドイツブルグのモンキーガレージをご紹介!
お見逃しなく!

「もう20年も ハマってるよ」 「暖かい時期は毎日乗ってる」 「モンキーはエンジン付近の密集感がサイコーだね」



THE
4MINI
WORLD
SURPRISING
DISCOVERY
vol.9
Pinneberg Germany

日本発祥の4MINIが海外でも愛されている。しかもそこはバイクが文化に根付くヨーロッパ。彼らの多くは一過性ではない。このインゴさんも20代のころから、20年以上も4MINIを愛し続けているのだ。

- OWNER : Ingo
- PHOTO&REPORT : Tsuyoshi Chiwa
- TRANSLATION : Kaizo Kagaya (KA-HA-TradingGmbH)
- SPECIAL THANKS : C.F.POSH (Tokyo&Osaka)